

【議会報告会】

○救命救急センター（ER）についての議論は何をきっかけに発展したものなのか。

⇒議員 臨床症状がなく帰宅を伝えた患者に関して、CT画像を読影した医師から新鮮梗塞の可能性が指摘された事例があり、当該患者家族が議員に相談を持ちかけたことから、議論を行うこととなった。

○館長権限予算の成果をどのように評価しているのか。内部地区でも複数の事業に使っているが、明示的な成果があまりなく、館長が使途に悩んでいる気もするため、より根本的に見直していくべきではないのか。

⇒議員 有意義に使われているところと、うまく機能していないところが見受けられたため、本議会で審査を行った。地域の合意を得ることが条件になっているが、館長判断が重視される仕組みにはなっている。

⇒議員 各地域の特色のある事業を、館長の決裁で実施できるように創設した予算であるため、地域のために使うことができると思ってもらいたい。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：有害鳥獣対策について》

○市にイノシシ捕獲用の檻を設置してもらったが、堤防は県所有であるために、堤防と田んぼを挟んだ場所に設置されたことは非常に残念に思っている。耕作放棄地の再生に取り組んでいるが、被害の増加によって、諦めざるを得ない現状となっている。今後、イノシシが人を襲う恐れもあるが、住民にあまり認知されていないと感じるため、少しでも人的被害がでないように対策を進めてもらいたい。

⇒議員 内部地区タウンミーティング後に、内部川沿いの南小松町地内、住民から要望のあった内部川沿いの南小松町地内に捕獲檻を1台設置するとともに、その約500m離れた西側にも1台設置したと聞いている。また、島根県松江市では、傾斜地にトタンを敷くことで、イノシシを近寄らせないようにする対策が行われており、理事者にも提案した。

○内部東小学校付近のトンボ池でイノシシにあぜ道を荒らされる被害があったため、館長権限予算を利用してフェンスの設置を行ったが、近隣の民家や老人ホームが被害を受け

ないか心配である。

⇒議員 イノシシの捕獲が最も効果的だが、猟友会メンバーの減少と生息数の増加によって効果が薄れ、被害はどんどん増えつつある。生息地域は広域にわたっているため、それぞれの町ごとではなく、北勢5市が共同で対策を行う必要があると考える。

○小山田地区ではイノシシ被害が減少していると聞く一方で、内部地区では被害が増加している状況から、大規模太陽光発電施設の開発によって、元々の住処を追われ、内部地区に流入していることが疑われる。大規模太陽光発電施設に対する影響調査は行われているのか。

⇒議員 大規模太陽光発電施設の開発申請があった際には、三重県の諮問機関が環境アセスメント（環境影響評価）を行い、知事が判断をすることになっているが、有害鳥獣に関する影響評価は行われていないと思われる。今後はそのような視点も取り入れていくべきと考えるため、担当部局に伝え、議会の中でも今後取り上げていきたい。

○犬を飼うことにより、イノシシが近寄らなくなったと聞くため、保健所から保護犬を譲り受け、イノシシ対策に活用すれば良いと思う。また、イノシシが泥あびをする沼田場にイノシシを入れないように整備すれば昼間に出てこないようになると思う。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局に伝える。

○捕獲頭数などの統計情報を資料に示しているが、すぐに解決できる問題ではなく、議論が難しい。各地区ごとの詳しい情報を収集し、住民が議論に参加しやすいような資料としてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○イノシシ被害に遭っていない住民の危機意識が薄く、だからこそ恐れを感じている。ガイドブックやその他広報活動など通じて、イノシシが目の前に現れた際にどんな対策を取るべきかを、多くの住民に認識してもらうことが大切だと思う。

⇒議員 現在の鳥獣被害防止計画は今年度までであり、来年度に向けて新しい計画を策定する予定となっている。今回の意見を踏まえて計画策定にあたりとともに、委員会の所管事務調査の中でも、今後取り扱っていきたいと考えている。調査を行う際には、傍聴に来てもらって、休憩時間にでも意見を聞かせてほしい。

○カラスへの対策は行っているのか。また、ムクドリの追い払い対策として中央通り沿い

で放鷹を行っているが、成功しているのか。

⇒議員 カラスについてはゴミ漁り防止のためのゴミ出しルールの徹底が主な対策であり、多言語対応のゴミ出しガイドを活用して取り組んでいるが、生息数をどう減らしていくかの話は進んでいない。放鷹はムクドリやカラスを他の場所に移らせる効果はあるものの、中央緑地公園にサッカー場や体育館を新たに整備した関係で、公園に居ついていた鳥が中央通り沿いに逃げてきており、効果がわかりにくくなっている。

○我々も有効な対策をなかなか提案できない状況にあるため、今回を機会に、実態を正しく把握して、提案できるようにしていきたい。

⇒議員 ご意見として承る。

○多くの住民がイノシシ被害の現状を知り、どうにかしてほしいという声が上がってくれば、より対策が進むと思うので、イノシシ被害を知る我々がもっと訴えていくべきだと感じた。また、市の計画を地域がチェックしていくことも非常に大切であると感じた。

⇒議員 ご意見として承る。